

【学校だより】

南アルプス市立小中一貫校 芦安小中学校

芦安っ子

【学校教育目標】

郷土を愛する心と夢を育み
未来を拓く人づくり

令和2年9月24日 NO.5 芦安小学校長

忙しかった、でも充実した9月でした

大きな行事が目白押しな9月です。子どもたちにとっては忙しい中でも充実した日々だったと思います。そのような学校生活の様子の一部を紹介します。

9月の終わりには6年生の静岡県への修学旅行が控えています。こちらも成功を目指して忙しい合間を縫って取組を進めています。

9月1日、紙芝居2編をいただきました

芦安地域交流実行委員会の皆様より、「夜叉神の一つ目小僧」「虎御前」の2編の紙芝居をいただきました。芦安地区にはたくさんの民話が残っているのだそうです。これらの紙芝居を、みんなで楽しんでほしい、そして芦安地区の民話を後世に残し伝えたい、ということ。さっそく夜叉神峠登山の事前学習で使わせていただきました。



9月2日、1年生の研究授業



中学校の先生方にも来ていただいて、国語科で「うみのかくれんぼ」の小中合同の授業研究を行いました。小中一貫教育を目指すための取り組みの一つです。生き物が大好きな一年生は、とても興味をひかれている様子でした。今後も児童・生徒とともに成長する教師集団を目指して、数回にわたって小中合同の研究授業を行う予定です。

9月4日、夜叉神登山

天気が心配でしたが、無事に登ることができ、豊かな体験学習ができました。山頂では夜叉神峠や御勅使川の歴史を紙芝居で学んだり、楽しいゲームをしたりして過ごしました。また道中での炭焼き小屋などから、昔、山に生きた人々の生活をうかがい知ることができました。芦安ファンクラブや地域おこし協力隊、集落支援員の方々が登山を助けてくださいました。



9月10日、柳形山登山



秋のすがすがしい空気を満喫しながら自然に親しみました。澄んだ空気の中の登山がとても心地よかったです。一方で鹿よけの柵の中と外の差に驚かされました。柵の中は自然のまま、外はまるで誰かが手入れでもしているように草木がありません。子どもたちも山のすばらしさと、同時に現在抱えている課題も実感として学ぶことができたと思います。

夜叉神峠・柳形山登山では、地域の方々が大変協力をしてくださいました。保護者の皆様にも送り迎えやお弁当の支度など、多くのご支援をいただいたおかげ

で成功裏に終えることができました。ありがとうございました。

9月19日、楽しかった！芦安ふれあい運動会

例年と違い半日で実施しましたが、天候に恵まれた中で開催することができました。



練習の時から声を掛け合い、集中して取り組んでいました。特に取り組みの最後の二日間は、6年生を中心に子どもたちの集中力が目に見えて高まっていくのが感じられました。

当日の一生懸命な様子からも子どもたちの成長が実感できました。協力しながら一生懸命に頑張る姿は、さわやかで温かい、また微笑ましい気持ちにさせてくれます。こんな気持ち

を会場の皆様と共有できたことがうれしかったです。大勢の方々に終了後の片づけをお手伝いいただいたのも心が温かくなりました。来年度は、中学生や地域の方々にも参加していただき、本来の意味での「芦安ふれあい運動会」になるといいと思います。



コロナ禍で、子どもたちが楽しみにしている行事も数多く中止を余儀なくされている中、できる範囲ではありますが運動会や自然体験活動を実施することができています。地域や保護者の皆様のご協力の賜物だと感じています。あらためて感謝を申し上げます。